

# 活動実績



2007年4月

特定非営利活動法人  
野生動物救護獣医師協会  
(WRV)

## ●協会概要

### 【名称】

特定非営利活動法人 野生動物救護獣医師協会 (WRV-J)  
(WILDLIFE RESCUE VETERINARIAN ASSOCIATION)

### 【所在地】

事務局：〒190-0013  
東京都立川市富士見町1-23-16 富士パークビル302  
TEL 042-529-1279 FAX 042-526-2556  
<http://www.wrvj.org/> e-mail:kyugo@wrvj.org

### 【設立経緯】

- 1991年4月1日 「東京野生動物救護獣医師協会」の名称で設立
- 1992年4月 「野生動物救護獣医師協会」に名称変更し全国組織となる
- 1999年10月4日 「NPO法人 野生動物救護獣医師協会」となる

### 【目的】

保護された傷病野生鳥獣の救護活動を通じて、市民の野生鳥獣保護思想の高揚をはかるとともに、地球環境保護思想の定着化をめざしています。そのために、常に世界の情勢を学び、会員相互の連絡・交流を行い、治療・研究および知識の普及をはかり、国民に対しても前記の活動を通じて啓蒙活動を推進し、社会に貢献していくことを目的としています。

### 【活動の種類】

#### 非営利活動

- (1) 傷病野生動物の救護と野生復帰
- (2) 病性鑑定及び疫学調査
- (3) 学会報告、会報、シンポジウム、講習会、ホームページ等、情報や技術の伝達・交流に必要な活動
- (4) 野生動物の傷病予防に関すること
- (5) 生物多様性の保全に関すること
- (6) 野生動物の救護施設に関する事業
- (7) 他団体との交流

#### 収益事業

- (1) 物品の販売
- (2) 出版

【会員構成】

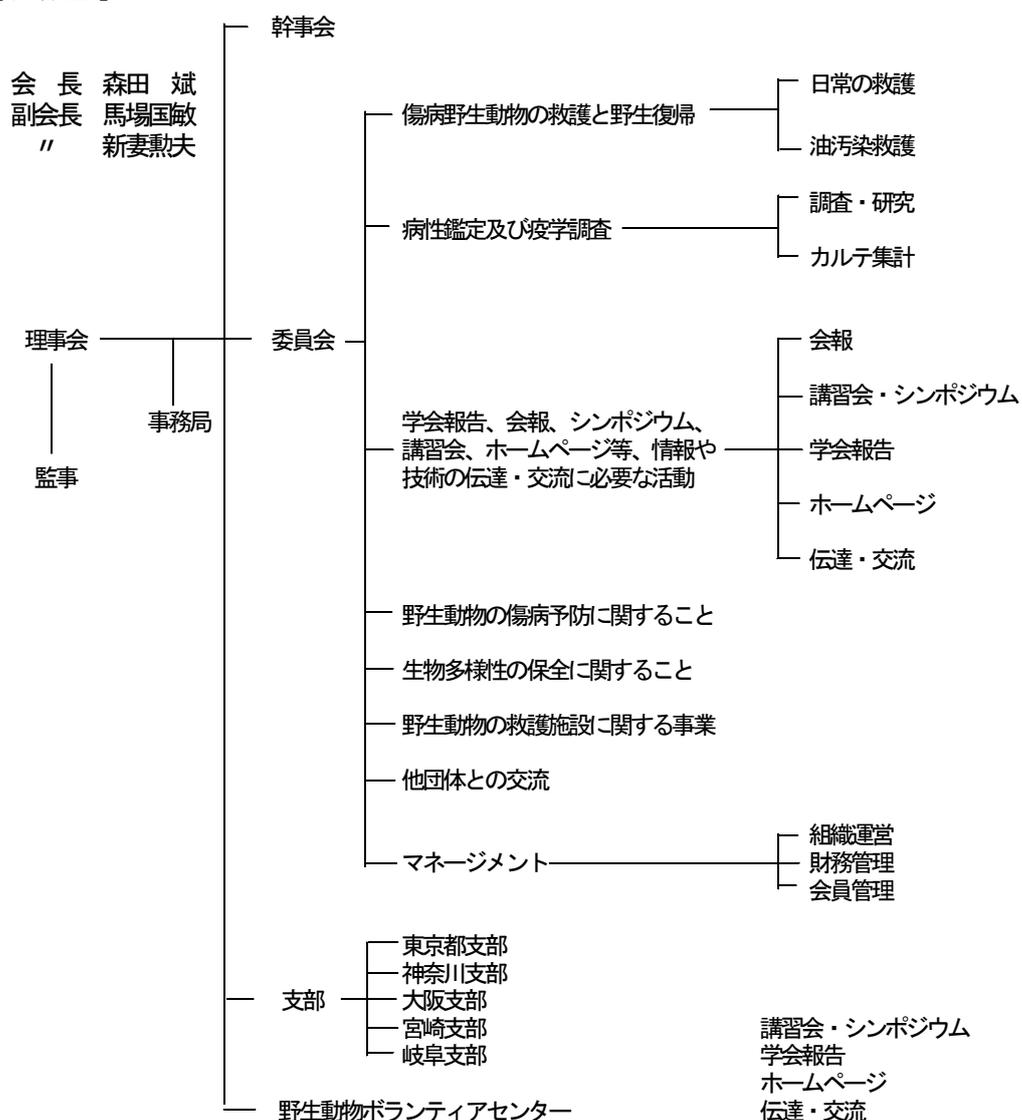
- 正会員（臨床獣医師）
- ボランティア会員（獣医師、一般個人）
- 賛助会員（個人、団体、法人）

【役員】

- |    |           |    |      |
|----|-----------|----|------|
| 理事 | 森田 斌（会長）  | 理事 | 小松泰史 |
| 〃  | 馬場国敏（副会長） | 〃  | 須田沖夫 |
| 〃  | 新妻勲夫（ 〃 ） | 〃  | 野村 治 |
| 〃  | 石橋 徹      | 〃  | 羽山伸一 |
| 〃  | 大窪武彦      | 〃  | 安田剛士 |

（平成19年3月10日就任）

【組織図】



## ●事業実績（平成18年度事業まで）

### ◎受託事業

#### 【東京都関係】

- 1991年 東京都野生鳥獣の一時保護治療委託（※1997年より東京支部にて受託）  
～現在
- 2002年 カイセンの診断など取り扱いについて
- 2004年 東京都鳥獣保護員油汚染鳥の救護講習会  
～2006年

#### 【環境省関係】

- 2000年 平成11年度北海道沿岸域における海鳥大量死に関する緊急調査  
平成12年度水鳥救護研修センター業務請負契約（自然保護局）
- 2001年 平成13年度水鳥救護研修センター業務請負契約（自然環境局）
- 2002年 平成14年度水鳥救護研修センター業務請負契約（自然環境局）  
水鳥の鉛濃度分析調査
- 2003年 平成15年度水鳥救護研修センター業務請負契約（自然環境局）  
平成15年度油汚染対策推進研修事業委託契約（地球環境局）
- 2004年 平成16年度水鳥救護研修センター業務請負契約（自然環境局）  
平成16年度油汚染対策推進研修事業請負契約（地球環境局）
- 2005年 平成17年度水鳥救護研修センター業務請負契約（自然環境局）  
平成17年度油汚染対策推進研修事業委託契約（地球環境局）  
特定外来種対策（マイクロチップ）協力
- 2006年 平成18年度水鳥救護研修センター業務請負契約（自然環境局）  
平成18年度油汚染対策推進研修事業請負契約（地球環境局）

#### 【その他】

- 1994年 捕獲鳥類の重金属汚染濃度分析調査 （財）自然環境研究センター
- 1996年 平成8年度油汚染野生動物救護対策救護マニュアル作成  
（財）日本鳥類保護連盟
- 1998年 日米専門家会議の報告書の作成 日本財団  
『ナホトカ号油汚染鳥類の救護・保全活動から何を学ぶか？』
- 2001年 ハマシギの病理解剖（日本湿地ネットワーク）
- 2002年 猛禽類の採血（日本鳥類保護連盟）  
農水省OIE資料協力
- 2002年 野生生物のダイオキシン類蓄積状況調査研究班検討委員会 （財）自然環境研究センター  
～2005年
- 2003年 日本獣医生命科学大学獣医学部学生対象油汚染研修会  
～2006年
- 2005年 特定動物等に係るマイクロチップ検討委員会委員派遣  
～2006年

2006年 C O E 共同研究員派遣

【講師派遣】

1992年 環境研修センター自然保護官研修会講師派遣  
～現在

1992年 大阪府 講習講師派遣  
千葉県野生動物囑託医研修会講師派遣  
比較血液研究会講師派遣

1993年 立川ロータリークラブ講師派遣

1996年 東京福生中央ロータリークラブ講師派遣

1997年 環境省水質保全局油汚染対策推進研修会講師派遣(2003年より完全業務委託)  
～2002年

1997年 飛火野ロータリークラブ講習会講師派遣  
森の会シンポジウム パネラー派遣名  
みどりの日、中央行事講師派遣  
日本小動物獣医師会講演  
福岡県獣医師会講習会講師派遣  
V T向け油汚染学セミナー講師派遣  
日本動物看護学会講師派遣

1998年 沖縄県傷病鳥獣応急処置講習会講師派遣  
専門学校油汚染海鳥救護技術講習会講師派遣

1999年 大阪湾大規模油流出事故対策研修会講師派遣  
新小研主催講習会講師派遣  
大阪市立環境学習センター主催講習会講師派遣  
日本小動物獣医師会講習会講師派遣  
岐阜県獣医師会中濃支部講習会講師派遣

2000年 徳島県獣医師会講師派遣  
野生動物救護研究会講師派遣

2001年 千葉県西部ブロック研修会講師派遣  
大阪府研修会講師派遣  
三重県研修会講師派遣  
全動協関東甲信越静ブロック研修会講師派遣

2002年 宮城県傷病野生鳥獣保護ボランティア研修会講師派遣  
日本獣医師会シンポジウムパネラー派遣  
福井県傷病鳥獣保護飼養ボランティア養成講座講師派遣  
福井県傷病鳥獣救護事業委囑託獣医師研修会講師派遣  
日本野生動物医学会学生会部会講座講師派遣

2003年 熊本県傷病鳥獣保護ボランティア講習会講師派遣  
ペンギン会議主催講習会講師派遣  
環境省、日本野鳥の会主催講演会講師派遣  
東京都獣医師会主催講演会講師派遣  
徳島県「野生動物救護の市民向け講座」講師派遣  
麻布大学学生主催講習会講師派遣

- 2004年 徳島県主催講習会講師派遣  
日本獣医師会学会年次大会講師派遣  
獣医師会研修講師派遣（東京都、三重県、中部）  
大阪湾大規模油流出事故対策研修会講師派遣
- 2005年 徳島県主催講習会講師派遣  
宮城県獣医師会主催講習会講師派遣  
新潟県獣医師会主催講習会講師派遣  
麻布大学新入生向け講演会講師派遣  
徳島県主催講習会講師派遣
- 2006年 三重県獣医師会主催講習会講師派遣  
大阪府傷病野生鳥獣保護飼養ボランティア講習会講師派遣

## ◎自主活動

### 【救護活動】

- 1991年 ペルシャ湾救護活動  
「ツキノワグマ」救命活動（長野県上伊那郡高遠町）
- 1992年 交通事故のニホンジカ引き取り（長野県佐久市）  
「ゴイサギ」救出活動（横須賀）  
スペインラコルニヤ沖タンカー事故調査員派遣
- 1993年 北海道苫小牧沖タンカー座礁事故現地救護活動  
英国シェットランド諸島タンカー事現地故救護活動  
福島県潮矢先沖にてタンカー衝突による重油流出事故調査派遣
- 1994年 オーストラリア山林火災現地救護活動資金支援活動  
南アフリカ「アホロシー号」重油流出ケープタウン現地救護活動  
会員病院にて治療したチョウゲンボウが、ボランティア会員の鷹匠の元でリハビリを終え放鳥
- 1996年 ケニア「リカオン野生復帰計画募金活動」
- 1997年 福井県沖ナホトカ号重油流出事故現地救護活動ならびに苫小牧リハビリセンター設営  
オオミズナギドリ繁殖地（冠島）を上空視察（ナホトカ号重油汚染事故の影響調査）  
対馬沖韓国タンカー油流出事故現地調査  
東京湾入口中ノ瀬タンカー座礁事故現地調査  
サンタクルーズ油汚染事故救護活動参加2名
- 1998年 麻布サル「アザミ」捕獲後、健康チェック  
北海デンマーク沖「パラス号」火災燃料流出事故現地調査
- 2000年 フランス「エリカ号重油流出事故」による現地救護活動
- 2001年 南米エクアドル「ガラパゴス諸島重油流出事故」による救護活動現地調査  
海協力隊のガラパゴス調査団に参加
- 2002年 スペイン「プレステージ号」難破油流出事故による現地救護活動  
～2003年
- 2003年 東京都野鳥フライングケージ設置協力（東京支部）  
東京都鳥獣保護員就任（2名）
- 2004年 兵庫県の海岸にて水鳥大量死救護活動  
※その他、随時国内外におけるタンカー事故等発生時情報収集ならびに活動準備有り

- 2005年 伊予灘沖貨物船衝突事故における死亡鳥（カムリミスメ）の解剖  
大阪府寝屋川油流出事故現地視察（大阪支部）  
「オガサワラオオコウモリを救え！緊急物資支援プロジェクト」協力
- 2006年 原因不明による対馬油汚染鳥類現地救護活動  
茨城県鹿島沖、貨物船「ジャイアントステップ号」座礁事故現地救護活動  
「ヒナを拾わないで」キャンペーン協賛（主3団体）

#### 【啓蒙活動】

- 1991年 第2回散弾銃による鳥類の鉛害防止対策緊急調査検討会参加
- 1992年 第3回散弾銃による鳥類の鉛害防止対策緊急調査検討会参加  
「鳥の外科ビデオ」作成
- 1993年 IWRB発刊「水鳥の鉛中毒」日本語版ビデオ発刊  
ラムサール条約締結国釧路会議開催 NGOフォーラム参加  
川崎どうぶつ愛護フェア参加  
釧路WILDLIFEセンター救護診療施設設計打合せ協力  
日露渡り鳥会議参加
- 1994年 動物愛護フェアかわさき参加
- 1995年 日本野生動物医学会設立総会参加、加盟  
「野生動物の輸入問題」情報交換
- 1996年 東京都ヒアリング  
平成7年度鉛散弾銃による水鳥の中毒防止対策調査第2回検討委員会参加  
東京都鳥獣保護委員協会愛鳥週間フェスティバル参加  
鉛中毒対策衆議院議員ヒアリング  
水鳥の鉛中毒対策協力要請  
動物愛護フェアかわさき参加  
岩垂環境庁長官へ鉛散弾使用禁止のお願い  
動物医学臨床研究会年次大会 会場にて啓蒙活動
- 1997年 海洋における油流出事故対策に関する国際専門家会議参加  
「海鳥救護センター」設置に関する打合せ（環境庁）  
油汚染生物調査研究国際会議参加
- 1998年 油流出事故に関わる鳥の文献調査打合せ  
「沿岸域環境保全リスク情報マップ整備の促進」事業報告会参加  
油汚染対策の都道府県レベルのワークショップ  
日野水鳥救護センター設計ヒアリング
- 1999年 鉛散弾規制検討会会議出席  
環境庁鉛散弾規制検討会会議出席  
IUCN日本委員会会議出席  
海洋汚染事故における民間協力体制のあり方に関する調査委員会出席
- 2000年 水鳥の救護研修センター（仮）の管理・運営について打合  
第3回海洋汚染事故における災害ボランティア活動に関する  
民間専門家及び研究者による検討会参加  
海上の森の保全を求める第2回世界自然保護会議決議案  
5団体と共同で国際自然保護連合（IUCN）に提出  
自然資源損害アセスメントワークショップ「東京湾周辺地域油汚染事故発生時に備えて」

- 2000年 鳥類の鉛中毒発生子防に関する事業（東京支部）
- ・鳥獣の病理解剖および組織学的診断について
  - ・鉛中毒の人体に及ぼす影響について
  - ・環境ホルモンと精子減少について
  - ・鉛弾から軟鉄弾への銃砲への影響について
  - ・猟友会での検討事項について
  - ・鉛のオモリの魚類および鳥獣への影響について
- 環境省、企業、NPOによるワークショップ「21世紀の環境問題について」
- 2001年 十周年記念特別講習会
- 「油汚染野生生物救護と野生動物看護の改善に向けた研究」
- サルのマイクロチップについて打合せ
- 2002年 新鳥獣保護法による公聴会出席
- 東京農工科大学祭にパネルおよび情報提供
- 2003年 若手ハンター企画 鉛弾問題シンポジウム参加
- 「野生生物保護基本法」に関するお世話人会出席
- 第4回米国野生動物レスキュー研修ツアー後援
- 協会リーフレット作成
- 2004年 警視庁野鳥の糞に関する捜査協力
- 日本ツル・コウノトリネットワークシンポジウム参加
- 岐阜大学21世紀COEプログラム参加
- 日本哺乳類学会参加
- 2005年 ウエストナイルウイルス・サンプル提供
- 国立感染症研究所にハト、アヒル、スズメの血清提供
- 日本臨床獣医学フォーラム後援
- ジャパンバードフェスティバル出席
- 愛鳥懇談会（鳥類保護連盟）出席
- 『Save a Bird』プロジェクト(P & G 提携)
- 2006年 ヤンバルクイナの国際ワークショップ参加
- トキシシンポジウム参加
- 東京都獣医師会小笠原シンポジウム（後援）
- 東京バードファスティバル出展（東京都支部）
- IUCN河口湖コンサート参加

#### 【教育普及】

- 1991年 第一回技術研修会
- 第二回技術講習会
- 1992年 第三回技術講習会「小鳥の診断から治療まで」
- 第一回ボランティア講習会「負傷鳥獣の取り扱いについて」
- 第四回技術講習会「飼鳥の臨床」
- 1993年 第五回技術講習会「ウサギを診るうえので基礎知識」
- 第二回ボランティア講習会「重汚染による水鳥の救護と看護」
- 第六回技術講習会「モルモット、ハムスターの飼育と病気」
- 1994年 第七回学術講習会「鳥類の麻酔と外科フェレットと爬虫類の管理と疾病」
- 第八回学術講習会「爬虫類の臨床について」

- 1995年 第九回学術講習会「サカナの臨床ABC」  
宮崎支部講習会「野生動物の救護を考える集い」  
第十回学術講習会「カメの飼育と病気」
- 1996年 第三回ボランティア講習会「ナイトウオッチング」  
第十一回学術講習会「飼い鳥の臨床Part 3」  
宮崎支部講習会「第二回野生動物の救護を考える集い」  
第十二回学術講習会「フェレットの臨床」
- 1997年 第十三回学術講習会「鳥の突然死」  
東京支部講習会「油汚染鳥洗浄の実習」  
第十四回学術講習会「エキゾチックの診察（ハムスターを中心に）」
- 1998年 「油汚染鳥類の救護」  
第四回ボランティア講習会「市街地の野鳥の保護」  
第十五回学術講習会「エキゾチックアニマル・プラクティスPart I」
- 1998年 第十六回学術講習会「爬虫類の臨床」
- 1999年 宮崎支部講習会「第四回野生動物の救護を考える集い」  
油汚染鳥類救護中級講習会  
野鳥のヒナ講習会「市街地の野鳥の保護」  
第十七回学術講習会「エキゾチックアニマル・プラクティス」
- 2000年 宮崎支部講習会「第五回野生動物の救護を考える集い」  
油汚染鳥類救護中級講習会  
第五回ボランティア講習会「飼鳥、野鳥の臨床(含油汚染鳥)」  
第十八回学術講習会「傷病猛禽類の救護」  
第十九回学術講習会「傷病猛禽類の救護PART II」
- 2001年 宮崎支部講習会「第6回野生動物の救護を考える集い」  
東京支部講習会（傷病鳥獣保護治療協力病院対象）  
「野鳥の救護と治療」
- 2002年 東京支部講習会（傷病鳥獣保護治療協力病院対象）  
「野鳥の救護と治療」
- 2003年 動物臨床医学年次大会 野生動物フォーラム（共同開催）  
「野鳥の臨床－40年に亘る実践体験と特に海外での救護法の研究」  
東京支部講習会（傷病鳥獣保護治療協力病院対象）  
「都市型野生動物の治療法」
- 2004年 第2回野生動物リハビリテーター技術講習会（道東野生動物保護センター共催）  
本部・東京支部共催学術講習会  
第25回動物臨床医学年次大会分科会
- 2005年 第4回野生動物リハビリテーター技術講習会（道東野生動物保護センター共催）  
第26回動物臨床医学年次大会分科会  
「野鳥の治療の実際」
- 2006年 第27回動物臨床医学年次大会野生動物分科会（共催）  
「身近な野生動物とのつきあい方」  
指導級者対象油汚染鳥救護講習会（P&G支援事業）

【助成事業】

- 1991年 平成3年度(財)日野自動車グリーンファンド  
「ワイルドアニマルレスキュー」編纂(記録集1)
- 1993年 平成4年度(財)日野自動車グリーンファンド  
「ワイルドアニマルレスキュー2」編纂(記録集2)  
平成5年度 地球環境基金(環境事業団)  
「野生鳥獣の汚染状況把握のための臓器内調査」
- 1994年 平成6年度 国際コミュニケーション基金  
「野生動物保護のための国際獣医学データベースの運用」  
平成6年度 全国労働者共済生活協同組合連合会  
「ワイルドアニマルレスキュー3シンポジウム開催、記録集編纂(記録集3)」  
平成6年度 民間団体環境保全活動助成(東京都)  
「ワイルドアニマルレスキュー3シンポジウム開催、記録集編纂記録集3」  
平成6年度 地球環境基金(環境事業団)  
「環境指標としての野生鳥類臓器内金属の実態調査及びその影響の検討」
- 1995年 平成7年度 地球環境基金(環境事業団)  
「野生鳥類の臓器内重金属モニタリング調査」  
平成7年度 P. N. ファント(日本自然保護協会)  
国際シンポジウム「ワイルドアニマルレスキュー4」編纂(記録集4)
- 1995年 平成7年度(財)イオングループ  
国際シンポジウム「ワイルドアニマルレスキュー4」記録集編纂(記録集4)
- 1996年 平成8年度 民間団体環境保全活動助成(東京都)  
「カモシカシンポジウム」開催と記録集編纂(記録集5)
- 1997年 平成8年度 日本財団協力援助金  
「ロシア船籍タンカー重油流出事故における鳥類緊急救護活動支援」  
(財)世界自然保護基金日本委員会(WWF-J)  
「重油汚染された水鳥のリハビリ放鳥センター建設」  
(財)日本鳥類保護連盟(日本アムウエイ)  
「ロシア船籍タンカー重油流出事故における鳥類緊急救護活動支援」  
平成9年度 地球環境基金(環境事業団)  
「大規模油流出事故に伴う野生生物救護・保全システムの評価」  
平成9年度 日本財団  
「海洋油汚染時の環境保全活動に関する日米専門家会議の開催」  
平成9年度 イオングループ環境財団  
「都市周辺における小型コウモリ類の分布実態と遺伝子マーカーの解析」
- 1998年 平成10年度 地球環境基金(環境事業団)  
「海洋油汚染事故被害希少海鳥保護のための集団遺伝子学的分析手法の確立」  
平成10年度 日本財団  
「油汚染野生生物の救護体制強化事業」
- 1999年 平成11年度 日本財団  
「油汚染野生生物の救護体制強化事業」
- 2000年 平成12年度 日本財団  
「野生生物保護活動に係る研修会の開催」
- 2001年 平成13年度 イオングループ  
「第6回日本野生動物医学会ラウンドテーブル記録集『ザ・移入種』CD-ROM作成」

- 2004年 平成16年度 神奈川県協働事業（神奈川支部）  
「野生動物救護活動に関する支援事業」
- 2005年 平成17年度 神奈川県協働事業（神奈川支部）  
「野生動物救護活動に関する支援事業」
- 2006年 平成18年度 神奈川県協働事業（神奈川支部）  
「野生動物救護活動に関する支援事業」

#### 【シンポジウム】

- 1991年 第一回シンポジウム ワイルドアニマルレスキュー  
「世界の野生動物救護活動の現場から」
- 1992年 第二回シンポジウム ワイルドアニマルレスキュー  
「日本の野生動物救護の現状と将来」
- 1993年 海鳥の油汚染に関する緊急報告会
- 1994年 第三回シンポジウム ワイルドアニマルレスキュー  
「救護動物の野生復帰を考える」
- 1995年 第四回シンポジウム ワイルドアニマルレスキュー  
「水鳥の鉛中毒」
- 1996年 第五回シンポジウム ワイルドアニマルレスキュー  
「カモシカシンポジウム」
- 1997年 ナホトカ号重油汚染事故緊急報告会  
「ナホトカ号油汚染流出事故による汚染鳥類の救護から放鳥まで」
- 1997年 国際シンポジウム  
「ナホトカ号油汚染鳥類の救護・保全活動から何を学ぶか？」
- 1998年 ドイツ油汚染緊急報告会
- 2000年 フランス タンカー「エリカ号」油流出による海鳥の  
油汚染状況と救護緊急報告会開催  
野生動物医学会年次大会 ラウンドテーブル「ザ・移入種」  
「ー今、日本の獣医学は移入種対策に関して何をなすべきか？ー」
- 2002年 「市民協働による野生動物救護の実際」

#### 【調査研究】

- 1991年～ 正会員病院における傷病野生鳥獣保護治療集計（毎年1月～12月）
- 1993年 鳥類の重金属分析調査開始
- 1995年 水鳥の鉛中毒症例検討会開催
- 1996年 「サクラの実中毒」実態調査開始
- 1997年 民家のコウモリ調査
- 1998年 ウミスズメ、ウトウ視察調査
- 1999年 根室半島でウトウ323羽の大量死確認 情報収集開始
- 2001年 コガモの解剖（マレックの確認）  
海外協力隊のガラパゴス調査団に参加
- 2002年 従来の冷凍組織とCASシステムによる冷凍組織の病理学的比較・検討
- 2003年 ウエストナイルウイルスサーベイランスのお願い（東京支部）
- 2004年 兵庫県の海岸にて水鳥大量死病性鑑定

- 2005年 猛禽類の現場検証・剖検  
山階鳥類研究所にて、死亡したオオタカの性別鑑定
- 2006年 ミネラル含有量試験  
衝突疑いのフクロウ解剖（東京都支部）

【論文・学会発表】

- 1992年 日本獣医師会年次大会  
「窓ガラス激突野鳥の病理所見」  
「東京近郊野生タヌキの内外寄生虫症について」  
「飼育下野生霊長類におけるB型肝炎ウイルス抗原抗体保有状況について」
- 1992年 日本小動物獣医学会  
「野生動物救護獣医師協会診療集計報告その1(1991)」  
「早期野生復帰のための野生鳥類の観血的内副子固定法について」  
第13回動物臨床医学会年次大会  
「野生動物救護獣医師協会診療集計報告（その1）」  
「早期野生復帰のための野生鳥類の観血的内副子固定法について」
- 1993年 東京都獣医師会症例報告会  
「動物病院における野鳥のバンディング」  
日本小動物獣医師会年次大会総会記念講演  
日本小動物獣医学会  
「動物病院における野鳥のバンディング」  
「野生動物救護獣医師協会診療集計報告（その2）」  
第14回動物臨床医学会年次大会  
パネルディスカッション「各地の野生鳥類の保護、管理に関する対応」
- 1994年 東京都獣医師会症例報告会  
「野生動物救護獣医師協会の取り組みについて」  
日本小動物獣医学会  
「東京都下のニホカモシカに発生したParapox virus感染症」  
「野生動物救護獣医師協会診療集計報告（その3）」
- 1995年 世界獣医学大会  
「アオジの皮下にみられた新しい吸虫についての報告」  
第16回動物臨床医学研究会年次大会  
「各種マイクロチップの使用経験」  
小動物臨床研究会パネリスト
- 1996年 鳥病研究会パネリスト  
東京都獣医師会症例検討会  
日本小動物獣医学会  
「野生動物救護獣医師協会診療集計報告その4(1994)」  
「野生動物救護獣医師協会診療集計報告その5(1995)」  
第17回動物臨床医学会年次大会
- 1997年 東京都獣医師会症例報告会  
「97年1月日本海重油汚染の海鳥救護の初期活動」  
野生動物医学会（パネラー）

- 1997年 野生動物医学会  
「東京湾入口中ノ瀬原油流出事故現地調査報告」  
関東地区獣医師大会  
「日本海重油流出事故における海鳥の救護活動について」  
「マイクロチップの使用経験」  
第18回動物臨床医学会年次大会  
「ナホトカ号重油汚染における海鳥の保護」  
「カリフォルニア報告」  
「各種マイクロチップの使用経験その2」
- 1998年 東京都獣医師会症例報告会 発表  
「野生動物救護獣医師協会診療集計報告その6(1996)」
- 1997年 日本獣医師会誌  
「犬の皮下埋め込み個体識別用マイクロチップの臨床的影響」  
国際シンポジウム「エコリズムと鳥と島」  
「ナホトカ号油流出事故により死亡した  
ウミスズメ (*Synthliboramphus antiquus*) のミトコンドリアDNA多型」
- 1998年 野生動物医学会  
「油汚染の野鳥の臨床医学」  
日本小動物獣医学会  
「野生動物救護獣医師協会診療集計報告その6(1996)」  
「麻布で捕獲されたニホンザルの健康診断について」
- 2000年 日本小動物獣医学会  
「野生動物救護獣医師協会診療集計報告その7(1997)」  
「野生動物救護獣医師協会診療集計報告その8(1998)」  
「野生動物救護獣医師協会診療集計報告その9(1999)」
- 2001年 第3回日本臨床獣医フォーラム年次大会  
「傷病野生鳥獣救護について」  
日本小動物獣医学会  
「野生動物救護獣医師協会診療集計報告その10(2000)」
- 2002年 第4回日本臨床獣医フォーラム年次大会  
日本小動物獣医学会  
「野生動物救護獣医師協会診療集計報告その11(2001)」  
動物臨床医学会年次大会市民フォーラム講演
- 2003年 日本小動物獣医学会  
「野生動物救護獣医師協会診療集計報告その12(2002)」  
獣医師畜産新報Vol. 56No. 9  
「スペイン沖タンカー沈没事故に伴う油汚染水鳥救護活動の現場から」  
日本学術会議  
「都市生活と野生動物」
- 2004年 日本小動物獣医学会  
「野生動物救護獣医師協会診療集計報告その13(2003)」
- 2005年 日本小動物獣医学会  
「野生動物救護獣医師協会診療集計報告 その14(2004)」  
日本野生動物医学会大会  
「東京都における猛禽類救護原因の解明」

- 2005年 The 1st Scientific Meeting of the Asia Zoo & Wildlife Medicine 2005  
(10月 タイ)  
「Histological changes in thyroid gland from Great Cormorant  
(Phalacrocorax carbo) in Tokyo Bay: possible association  
with environmental contaminants」  
※農工大COEプロジェクト共同研究
- 2006年 日本小動物獣医学会  
「野生動物救護獣医師協会診療集計報告 その15(2005)」  
日本野生動物医学会大会  
「対馬近海において重油に汚染された水鳥の病理学的研究と今後の課題」